

令和2年10月21日

**広島大学オンライン公開講座 2020
「宇宙に生命を探す」を開講します**

地球の生命は、どこからやって来たのか。生命についての起源を考えると、地球内では話は完結せず、宇宙の起源を明らかにすることにもつながります。138億年にわたる壮大な宇宙の歴史、銀河、恒星、ブラックホール、太陽系、生命の起源などについて考えていきます。そして、小惑星探査機「はやぶさ」や「はやぶさ2」の成果、地球外生命の探査等についても紹介します。

会 場 Zoomによるオンライン講座
～事前にお申し込みいただいたメール宛に、ミーティングのURLを記載したメールをお送りします。

時 間 19:00～20:30

定員／対象 どなたでも

受講料 無料

申込方法 <https://www.hiroshima-u.ac.jp/iagcc/news/60582>

11/5 (木)	1回	宇宙の不思議	学術・社会連携室 特任教授 観山 正見
		1995年にマイヨール教授（2019年ノーベル物理学賞受賞）たちが太陽系外の惑星を発見して以来、宇宙には三千を超える惑星が存在し、中には地球と同じような環境の惑星も見つかっています。「宇宙に生命を探す」試みは、今後の大きな天文学や宇宙物理学の目標となってきました。初回は、宇宙と私たちのつながり「宇宙の不思議」を概観します。	
11/12 (木)	2回	太陽系における地球生命の誕生	先進理工系科学研究科 教授 藪田 ひかる
		約46億年前の太陽系形成史を記録する、隕石・小惑星・彗星などの小天体は、地球を含む惑星と生命を作った材料です。これらを最先端の化学分析手法で調べることで、地球生命を構成する水と有機物の起源と形成の謎に迫ることができます。2020年末頃に「はやぶさ2」が持ち帰る、小惑星リュウグウ試料の分析への期待を込めて、お話しします。	
11/26 (木)	3回	地球外惑星の生命の探査	学術・社会連携室 特任教授 観山 正見
		太陽系外に惑星を見つけることは、天文学者の大きな夢でした。ついに、1995年にマイヨール教授とケロー博士によって達成されましたが、それは、彼らの努力と同時に幸運もあった結果でした。今や、3千個を超える惑星や惑星系が発見されており、そこに生命の存在を確認する計画が様々な立案されています。高等生命を探る試みもあります。	
12/10 (木)	4回	地球の極限生物からみた地球外生命の可能性	統合生命科学研究科 教授 長沼 毅
		天文学や惑星科学から「宇宙には地球みたいな天体はたくさんある」ことがわかりました。一方、生物学からは「地球にはこんなスゴイ生きものがあるんだ、これなら宇宙でもやっていけるかも」という希望が語られるようになりました。深海の海底火山や南極の氷の下などの「極限環境」に住んでいるスゴイ生きものの面々を、ご紹介いたします。	

【お問い合わせ先】

学術・社会連携室 地域連携部門 担当:三戸
Tel : 082-424-5871
E-mail : chiikirenkei@office.hiroshima-u.ac.jp

宇宙に生命を探す

インターネット（Zoom）から講義をお送りします
講義へのアクセス方法は申込後にご案内

第
1
回

11月5日（木）19:00-20:30

「宇宙の不思議」

講師：観山 正見（学術・社会連携室 特任教授）



第
2
回

11月12日（木）19:00-20:30

「太陽系における地球生命の誕生」

講師：薮田 ひかる（先進理工系科学研究科 教授）



第
3
回

11月26日（木）19:00-20:30

「地球外惑星の生命の探査」

講師：観山 正見（学術・社会連携室 特任教授）

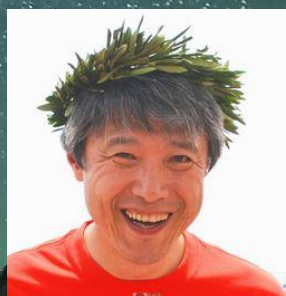


第
4
回

12月10日（木）19:00-20:30

「地球の極限生物からみた 地球外生命の可能性」

講師：長沼 毅（統合生命科学研究科 教授）



詳細・申込

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/iagcc/news/60582>

お問い合わせ先

広島大学地域連携部門 TEL: 082-424-5871



広島大学オンライン公開講座 2020

宇宙に生命を探す

概要	地球の生命は、どこからやって来たのか。生命についての起源を考えると、地球内では話は完結せず、宇宙の起源を明らかにすることにもつながります。138億年にわたる壮大な宇宙の歴史、銀河、恒星、ブラックホール、太陽系、生命の起源などについて考えていきます。そして、小惑星探査機「はやぶさ」や「はやぶさ2」の成果、地球外生命の探査等についても紹介します。
会場	Zoomによるオンライン講座 ~事前にお申し込みいただいたメール宛に、ミーティングのURLを記載したメールをお送りします。
時間	19:00 ~ 20:30
定員/対象	どなたでも
受講料	無料

11/5 (木)	1回	宇宙の不思議	学術・社会連携室 特任教授 観山 正見	
		1995年にマイヨール教授(2019年ノーベル物理学賞受賞)たちが太陽系外の惑星を発見して以来、宇宙には三千を超える惑星が存在し、中には地球と同じような環境の惑星も見つかっています。「宇宙に生命を探す」試みは、今後の大きな天文学や宇宙物理学の目標となりました。初回は、宇宙と私たちのつながり「宇宙の不思議」を概観します。		
11/12 (木)	2回	太陽系における地球生命の誕生	先進理工系科学研究科 教授 藪田 ひかる	
		約46億年前の太陽系形成史を記録する、隕石・小惑星・彗星などの小天体は、地球を含む惑星と生命を作った材料です。これらを最先端の化学分析手法で調べることで、地球生命を構成する水と有機物の起源と形成の謎に迫ることができます。2020年末頃に「はやぶさ2」が持ち帰る、小惑星リュウグウ試料の分析への期待を込めて、お話しします。		
11/26 (木)	3回	地球外惑星の生命の探査	学術・社会連携室 特任教授 観山 正見	
		太陽系外に惑星を見つけることは、天文学者の大きな夢でした。ついに、1995年にマイヨール教授とケロー博士によって達成されましたが、それは、彼らの努力と同時に幸運もあった結果でした。今や、3千個を超える惑星や惑星系が発見されており、そこに生命の存在を確認する計画が様々に立案されています。高等生命を探る試みもあります。		
12/10 (木)	4回	地球の極限生物からみた地球外生命の可能性	統合生命科学研究科 教授 長沼 毅	
		天文学や惑星科学から「宇宙には地球みたいな天体はたくさんある」ことがわかりました。一方、生物学からは「地球にはこんなスゴイ生きものがあるんだ、これなら宇宙でもやっていけるかも」という希望が語られるようになりました。深海の海底火山や南極の氷の下などの「極限環境」に住んでいるスゴイ生きものの面々を、ご紹介いたします。		

講座内容に関する問合せ	学術・社会連携室 地域連携部門	電話：082-424-5691 メール：chiikirenkei@office.hiroshima-u.ac.jp
-------------	--------------------	--